

情熱を燃やせ

～「しあわせ」を共有できる仲間と共に～

2017年度スローガン

『情熱を燃やせ』 ～「しあわせ」を共有できる仲間と共に～

忘年例会

12月9日 府中市文化センターにて2017年度最後の事業となります。忘年例会を開催いたしました。例会、卒業式、懇親会と三部構成で行われました。

例会では、理事長、監事から今年一年を振り返って、労い、総括をいただき、2017年度の活動を締めくくる場となりました。卒業式では、前号で紹介させていただいた4名の卒業生を中心に、多くの特別会員を迎え、笑いあり、涙ありの卒業式となりました。卒業生の活動を振り返り、また最後の挨拶をいただき、各卒業生の個性を改めて実感し、現役会員はこれからの青年会議所での活動の指針を再確認することができました。懇親会では現役、特別会員がともに今年の青年会議所活動を振り返り、また栗原次年度理事長へのバッジの授与式と次年度の体制紹介があり、懇親を深め次年度への活力を新たにしました。

忘年例会を迎えるにあたり、年当初より会場が変更となるなど、いくつかのトラブルもありましたが、情熱を燃やし、委員会メンバーには支えていただき、無事最後の事業を終えることができました。

最後になりましたが、ご多忙にも関わらず多くの方にご出席賜りましたこと、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。また、不行き届きな点が多々あったにも関わらず、快くお許しくださったこと重ねて御礼申し上げます。ありがとうございました。

2018年度は栗原理事長のもと、温故知新のスローガンを掲げ、よりこのまちのためになるよう活動してまいりますので、引き続き府中青年会議所をよろしく願いいたします。 総務委員会 委員長 田辺貴慶



今年一年を振り返って

当委員会では備後国府まつりの開催がメイン事業でした。今年は「一夜限りのテーマパーク化」を構想とし、複数年かけて発展させていく方針を打ち出しました。その構想のもと今年は「泡祭」が開催できました。イベントの内容から賛否はありましたが、当日来場された方から「やってくれてありがとう」の言葉を頂いたときは大変うれしかったです。今年は若い世代をターゲットの中心に考えていきました。2日間通して若い世代が盛り上がるまつりにすることができたと思っています。本当にありがとうございました。

まつりBUBBLY委員会委員長 磯田一郎

子ども達が友達や仲間と深い友情を育むためには、協調性を育む機会が必要だと考え、事業の構築をしてきました。対外事業が中心でしたが、各関係者の府中JCに対する信頼感は大きいと感じました。そこにはOBの方や、歴代の委員長の今までの行いがあったからだと思います。私は、社会経験も少なく、のりや勢いで今までやってきました。勢いだけの私を間違った方向に行かないように支えてくれたのは、委員会メンバーでした。改めて周りに支えられている事を感じた1年間でした。ありがとうございました。

はばたけ！未来の英雄委員会委員長 松本拓也

手帳の作成から新年例会と続き、最後の忘年例会まで、とても長い一年だったと感じています。会員の育成を掲げ、セレモニーの開催、メイン事業には会員育成事業を行いました。会員育成事業は、日程、内容ともに紆余曲折があり、開催もあやぶまれましたが、委員会メンバーの支えもあって、結果として良い事業が行えたと思っています。学んだことを次年度の委員長も活用することの聞き、とても嬉しく思っています。今年一年皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。

総務委員会 委員長 田辺貴慶

今年度は、新入会員10名と目標たてましたが、結果は、4名となりました。私のJC活動が不足した結果だと考えます。改めて、拡大は1人ではなく、メンバー全員の力でやるものと感じさせられました。4名の本入会、仮入会もメンバー皆様のお力を頂けたからだだと思います。他の事業も、準備不足も多々ありましたが、会議メンバーの力で行なえました。

1年間、私を支えて頂き、ありがとうございました。

会員拡大会議議長 後藤功二

編集後記

今年のJCニュースは総務委員会が担当させていただきました。2017年は河村理事長のもと「しあわせ」を共有できる仲間とともに、情熱を燃やして駆け抜けた一年だったように思います。さてNews505とNews506の編集後記のネタですが、気になっているかたもおられるようで、少しヒントを出したいと思います。まず505ですが、25ドル+2ドル=9ドル×3人です。内田百閒の「特別阿房列車」という小説が元ネタです。

つづいて506はドアを変えたほうが良いです。くわしく調べたい方はモンティ・ホール問題で調べてみてください。

来年のJCニュースはブラモンデンの復活！？引き続きお楽しみください。それでは、皆様今年一年ありがとうございました。良いお年を！